学校番号	319

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校美術Ⅱ　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

静物画や風景写生を描くことで、自分の中にある様々な思いや、感じたことを表現することを目指す。自分なりの課題設定を行い完成までを計画的に行う力を養う。主体的に創作を行う姿勢を身につける。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して，美的体験を豊かにし，生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし，美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい，多様な表現方法や美術文化に関心をもち，主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする	感性や想像力を働かせて、自然、自己。社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ，主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	出席状況 授業態度 作品への取り組み ワークシート	授業態度 課題作品 観察等 ワークシート	授業態度 作品への取り組み 課題作品 観察等	授業態度 レポート 観察等 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	美術の授業についての確認。 線職面による作品制作。	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a: 作品制作の姿勢ができている。 b: 対象をよく観察し、意図した表現ができる c: 用具の特性を活かし、表現方法を工夫している。 d: 直線が織りなす模様を認識し、連続する模様を１つの作品となるようにする。	授業態度 課題作品
2学期	美術鑑賞レポート	美術展へ行き本物の作品を鑑賞し、感想をレポートにまとめる。	○			○	a:美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫に関心を持ち、多様な視点から鑑賞している。 d:美術作品の表現の特質や様式、主題、表現方法について理解している。	鑑賞レポート
	堆朱	堆朱作成	○	○	○	○	a:課題の趣旨を理解し、デザインの目的や伝えるための表現の工夫に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。 b:作品の構造を理解し表現形式の特性を考え、表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて用具の特性を活かし、表現方法を工夫している。 d:他の生徒の作品を鑑賞し、その意図や美しさを感じ取っている。	授業態度 アイデアスケッチ 製作途中の作品 課題作品 ワークシート

3学期	ランプシェード	積層によるランプシェード作り	○	○	○	○	a: 木工の技法と手順を理解し、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。 b:積層による構造の特性を考え表現の構想を練っている。 c: 素材と光の特性を理解し、空間表現を意識できるか。 d:素材のよさや美しさ、表現方法の工夫などを感じ取り作品について理解を深めている。	授業態度 アイデアスケッチ 課題作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。